



奉仕の精神を大事にして継続性のある 楽しく充実したロータリー活動の実践を！

ロータリー月間

青少年奉仕月間

第2106回例会

2022.5.16

会長／田中 寛 幹事／田中靖彦
副会長／山地久守 会報／長澤好太郎
例会場／宮崎観光ホテル
ソング／奉仕の理想

会長挨拶

田中 寛会長

 皆様今日は。本日は、ロータリー活動と仕事（職業）について、話をさせていただきます。ロータリーの始まりにつきましては、ロータリーに関する文献を見ますと、アメリカが著しい経済発展を遂げていた1905年ころのシカゴにおいて、目覚しい経済発展の陰で商業道徳の欠如が目立っていたことから、弁護士であるポール・ハリス氏が、友人3人と、お互いに信頼のできる公正な取引をし、そのような信頼関係の持てる仲間を増やしたいとの趣旨で、1905年2月にシカゴ・ロータリークラブを設立したのが始まりです。その後、ロータリークラブが次々と各地に生まれ、現在では、世界200以上の国と地域に広がっています。世界のクラブ数も約3400クラブ、会員数も約120万人に達しています。

このようにロータリーが発展してきた理由は、ロータリークラブの趣旨が、志を同じくする色々な職業の人が職業奉仕を基本とした活動を、職業倫理を守りながら、社会奉仕活動を含め各種の活動をしていくことから、その活動の目的と活動内容が、世界の人々から賛同を得られたからだろうと思います。

私自身も、これまでのロータリー活動を通じて学んだことが、自分の仕事においても、職業倫理を含め、大変役立っていると思います。ロータリーの定義は、「ロータリーは、人道的奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的基準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した実業人

出席委員会報告

中武照利委員長

●出席状況

本日状況		前々回修正出席状況	
会員数	(49) 51名	メークアップ数	3名
本日欠席者数	17名	修正出席率	73.47%
本日出席者数	34名	メークアップされた方	川村雅宣会員、寺村明之会員、富井雄二会員
出席率	69.39%		

ニコニコ
BOX 0件 0円
累計 341,000円

募金箱 5,374円
累計 141,715円

および専門職業人が世界的に結び合った団体」と定義されています。そして、この内容は、当ロータリークラブにおいて、毎回の例会の際に、「ロータリーの綱領」及び「国際ロータリーの職業宣言」の唱和や「ロータリーの目的」の唱和をし、かつ「四つのテスト」や「奉仕の理想」の歌を全員で歌い、また夜間例会の終わりに「手に手つないで」の歌を全員で手をつなぎながら歌うこと等が恒例になっていますが、上記唱和している内容や歌の内容等がよくロータリーの精神を表していると思います。上記については、大変意義があり、大事なことであると思いますので、今後も続けていくことによって当クラブの会員同士の信頼関係が高まると共に、ロータリーの精神が自然と身についていくものと思います

世界では、ロシアのウクライナ侵攻問題が起きており、子供を含む多くの民間人が犠牲になる悲惨な状況が続いていることが毎日マスコミで報道されています。そのことに関し、ウクライナにもロータリークラブがあることが、前回の例会の際の大迫パストガバナーの紹介で分かりました。ロータリークラブ数が62クラブ、会員数が1,100人になっていることも分かりましたので、同じロータリアンが多数おられるウクライナに対して、今後、世界のロータリークラブが、できる限りの支援をしていく必要があると思います。そして、ロータリークラブの究極の目的は、世界の恒久平和であると思いますの

で、当ロータリークラブの今後の活動もそのことを念頭に置きながら、各種の活動をしていきたいと思います。どうぞ宜しくお願ひ致します。

幹事報告

田中靖彦幹事



1 2021-22年度地区大会

この週末5月20 21 22日と地区大会が開催されます。

宮崎南クラブからは米山奨学生のワンイハンさんを含め12名の方が参加されます。よろしくお願ひします。

親睦委員会

村野 裕委員



宮崎南ロータリークラブゴルフコンペが本日締切になっております。参加されたい方は早めに申し込みをよろしくお願ひします。

次年度会長より

開地俊昭会長エレクト



本日、現・次期クラブ協議会を開催致します。

18:00～ホテルメリージュです。

●米山奨学金授与式



ワン イハン様

会員卓話

村野 裕会員



本日は、私が所属する業界の令和4年現在の最新情報を皆様へお伝えしたいと思います。

皆様、報道等でご存じのことばかりかもしれませんのが、何かご参考の一助になれば

幸いです。

早速ですが、この資料のこちらの画像、2011年12月に発生した、世界で一番高額な事故、の画像です。フェラーリやランボルギーニという高級車が10台以上玉突き事故を起こし、支払い保険金は3億円とも言われています。

私が担当している事故では起きて欲しくないと思っています。

【自動車保険動向】

最初に自動車保険に関する動向をお伝えします。昨今自動車は大変進化を遂げています。簡単にいうと非常に安全性能が向上しています。このおかげで、自動車事故による死者数や重傷者数が少なくなっています。また自動ブレーキ等の技術により、自動車事故自体が少なくなると言われています。この流れを受けて、昨年の報道では自動車保険料の値下げが伝えられています。

次に非常に社会問題化したトピックをお伝えいたします。こちらの画像は皆様報道等でご覧になったこともあるかと思いますが、いわゆるあおり運転で大問題となった事案です。これらの社会問題を受けて、あおり運転からの自分を守る意識が高まっています。具体的にはこちらの映像が残っているように、記録を残すということが重要です。それを受けドライブレコーダーが普及しました。保険もこれらニーズを受けまして、ドラレコ特約のは発売が相次ぎ、特徴といしましては、強い衝撃を感じると、自動でオペレーターと繋がり、応答がない場合は、GPSを使った警察・救急の手配、代理店等への事故連絡などを行ってくれます。

【火災保険動向】

次は火災保険の動向についてです。火災保険といっても昨今は自然災害保険となってきています。こちらの記事は災害の増加と、支払い保険金の増加、それに伴う保険料の値上がりを伝える内容です。実際近年の支払い保険金は、2018年、2019年は1兆円規模となり、災害が比較的少ないと思われた2020年も2500億円近い支払いとなっております。災害が激甚化、頻繁化しており、保険料の値上がりは各社避けられない情勢です。今年2022年10月も保険料の値上が

りが各社発表されており、画像のような案内が今年夏から秋にかけて皆様のところに届くかもしれません。

【自転車保険について】

次にその他の損害保険に関してです。今日は自転車についてお伝えしたいと思います。

昨今宮崎等でも利用が開始しているウーバーイーツ等ケータリングサービスの普及拡大を受けて、悪質な自転車運転が社会問題化しています。自転車を通勤通学で使用する場合は自動車保険の加入を義務化する動きもあり、実際ご相談も多いのが実情となっております。

【生命保険動向】

次に生命保険についてです。こちらはNNOSEというがん検査の画像です。尿一滴で体にがんがあるかどうかわかるというもので、2019年からサービスが開始しております。他にも血液1滴でがんがわかるものもあり、がんを超早期発見できるシステムが確立されつつあります。これは大変うれしいことなのですが、一方でこんな記事がございます。過剰診断という問題がお隣の国韓国で起きているという記事で、韓国では超早期発見により甲状腺がん患者が急増し、民間のがん保険の給付対象から甲状腺がんが除外されているのです。

この流れは今後日本でも起こることが考えられ、進化を続けてきたがん保険のひとつの転換点になるかもしれません。

【バレンタイン・ショック】

次に法人向け保険についてです。まず最初は「バレンタインショック」と呼ばれる変更をお伝えいたします。これは法人向けに発売され非常に人気を博した、全額経費算入可能で、解約時の返戻金が80～90%という法人向け生命保険に、国税庁が販売停止を命じたものです。2019年2月14日に発表されたため、業界では「バレンタイン・ショック」と言われております。この発表後の解約返戻率と経費扱いできる割合は別表の通りです。

【雇用慣行リスク】

次にいわゆるハラスメントについてです。昨

今いろいろなハラスメントが生まれておりますが、その中でも雇用トラブル・不当解雇の問題が増加しています。雇用慣行リスクと呼ばれるこれらリスクに対する備えも必要な情勢です。

【サイバーリスク】

次にサイバーリスクについてです。こちらも近年非常に増加傾向にあり、個人で考えると1日10回以上攻撃を受けている換算になります。また個人だけではなく法人も主要な攻撃対象となっており、特に対策が手薄な中小企業こそ格好のターゲットとなっています。これからこれらサイバー攻撃に対する企業防衛は中小企業の抱える大きなリスクとなりそうです。

以上が私から業界近況報告です。

【終わりに】

私ども宮日商事は総合保険代理店であり、今日ご紹介したリスクに備えて頂ける商品がございます。地域社会から信頼される代理店を目指して今後も精進してまいりますので、どうぞ宜しくお願ひいたします。

会員卓話

小園隆司会員



今日は私なりに転機となった歴史の出来事についてお話ししたいと思います。

飽くまでも私の私見ですのであまり信憑性ないと思います。

まず安政3年3月3日1860年3月24日に起きた「桜田門外の変」からお話ししたいと思います。

皆さんもご存じの通り当時の大老今いでいえばナンバー2的な存在の「井伊直弼」が暗殺された事件です。当時幕府内で権力を握っていたのは水戸藩と薩摩藩だったらしい。その水戸藩で幕府寄り、尊王攘夷強硬派、稳健派に分かれていて、事件を起こしたのは尊王攘夷強硬派の17名と薩摩藩の1名だったらしいです。ではなぜこの事件が起きたのか調べました。安政5月に調印された「日米修好通商条約」に関係します。外国からはこの時代開国を迫られ国全体が右往左往していた時でした。その条約（開国）を幕府主導で調印したのです。その事に朝廷は当然

不満を持っていた。そこで朝廷は安政5年7月幕府に勅書（命令文）出した。しかし返答がなかったので8月に水戸藩にも勅書を下した。その勅書の内容が幕府の改革であった。しかしそのことは幕府の立場なくなるのです。今度は幕府から水戸藩へその勅書を返せと要求した。そこで先述の尊王攘夷強硬派が返還に応じない姿勢から事件を起こしたというのが大方の見方です。

次に2.2.6事件です。

1936年2月26日薩摩藩を中心とした陸軍の青年将校約1500名を率いて大規模なクーデターを起こした事件です。この事件は当時の政治不信、経済不安からの脱却を目指した行動だった。そこでいろいろ語られている目的は何だったのか青年将校のほとんどが自害、処刑され何の意味があったのか考えました。当然世の中を良くしていこうと思いがかったと思います。しかしそれを武力で訴えようとした事に問題があったのではないかと思います。今考えると将校達の年齢がほとんど20歳代に驚きます。諸説ある中で裏では陸軍と海軍の争いだったという説もあります。このクーデター海軍は事前に分かっていた。また陸軍は当初クーデターに理解を示していた。いずれにせよ無駄な命を失うことには変わりはなかった。ではこの事件が残したもののは決起をした将校たちにすべて責任を被せなぜ事件が起こったのか真相は闇の中である。ただ言えるのは若者が犠牲になり本来責任を取らなければならぬもの別にいることだと思います。

そしてここから太平洋戦争に突き進んでいきます。もう少し掘り下げて事件を考えてたら違った結果があったかもしれません。

桜田門外の変、2.2.6事件私はある意味時代の転機ではなかったと思います。

何か事を起こそうとするその動機。きっかけを理解せず結果だけで判断して今うことは今でも変わらないような気がします。やはり結果を恐れずに真実を求めて行くことが大事ではないでしょうか。